

【指名選手】

ソフトボール独特のこのルール。ルールブックを見てもわかりにくいこのルールについて解説します。

1 指名選手とは

野球ではDH(指名打者)として知られています。

指名選手は打者をDP(Designated Player)、守備者をFP(Flex Player)と表現します。

DP	攻撃を行う選手
	再出場(リエントリー)できる
	守備にも参加できる
	守備のみはできない

FP	守備を行う選手
	再出場(リエントリー)できる
	攻撃にも参加できる
	攻撃のみにはできない

<覚えたいキーポイント>

①	FPは攻撃のみのプレイはできない。
②	DPは守備のみのプレイはできない。
③	DPとFPは同時には攻撃できない。
④	DPとFPはいずれの交代についても、必ず監督が通告しなければならない。

2 ラインアップ表(※)への記入方法 ※オーダー表という表現は2026年から廃止になりました。

ラインアップ表 (例)			
打順	守備	選手名	UN
1	6		
2	4		
3	3		
4	DP	A君	
5	5		
6	8		
7	7		
8	9		
9	2		
FP	1	B君	

① DPは1~9の打順記入欄に記入する。
守備欄に「DP」と記入する。

② FPは1~9の打順記入欄には記入しない。
欄外の打順欄に「FP」、守備に「守備位置No」を記入する。

このラインアップ表ではDPとして4番にA君が、
FPとして投手のB君がスターティングラインアップに
登録されています。

3 選手交代

DPの打順は試合中変更できない	⇒	4番は選手が代わっても常にDPとなる。
DPの再出場は1回のみできる	⇒	DPは元の打順に戻って攻撃できる。
DPが守備者となる場合	⇒	DPがFPと交代する。A君は一旦試合から退く。(注1) 攻撃時にDPが再出場し、FPも次の守備で再出場し元に戻ることも可能。 DPがFPを除く守備者と交代すると、交代守備者がOPOとなる。(注2)
FPの再出場は1回のみできる	⇒	DPの打順でのみ攻撃できる。(注3)
FPの守備変更はいつでも可能である	⇒	交代された守備者がFPになる。

(注1)いわゆるDP解除の状態となり9人で試合を行う。

(注2)A君は守備と打撃を兼ねる選手となり、A君と交代した打順の選手はOPO(Offensive Player Only)という攻撃のみ行う選手となる。

(注3)OPOの打順にFPが攻撃参加するケースがあるが、これは違反である。OPOを解除しDPに戻した場合は合法となる。

4 ペナルティ

ペナルティは相手チームからのアピールがあった場合のみ適用する

処置	不正交代の種類
(1) 監督と違反者が退場になる。	① 無通告交代 ② 再出場違反 ③ DP違反 ④ 失格選手の出場 ⑤ 代替プレーヤー違反
(2) 違反者は正しい交代者と交代する。	
(3) プレイはすべて有効である。	
(4) 違反者がさらに出場したときは、没収試合になる。	

アピールのタイミングによる処置の違い

守備側の違反	投手が投球動作に入る前の場合は、攻撃側監督にどのプレーを生かすか選択権がある。
	投手が投球動作に入った後の場合は、攻撃側監督には選択権がなくプレーはすべて生かされる。
攻撃側の違反	攻撃完了前の場合は、正しい交代者に代わりカウントを引き継ぎ、プレーを続行する。
	攻撃完了後、投手が投球動作に入る前の場合は、違反者はアウト、プレーは無効になる。 攻撃完了後、投手が投球動作に入った後の場合は、正しい選手と交代しプレーは有効になる。